

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム はるかぜ

作成日 令和 6年 6月 26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	毎朝の理念の唱和を定着し、今年度も理念勉強会を計画しているが、未だ共通理解としては不十分である。	勉強会の定着。 理念の理解を深める。 理念の共通理解・解釈が出来る。	職員一人ひとり、理念に対する理解や解釈を発表して頂きながら擦り合わせて行く作業を行う。	1年～
2	4	運営推進会議を活かしきれていない。	入居者・家族の方々、地域の方々が意見を言いやすい場にする。	入居者の意見を交えたり、和やかな雰囲気の会にする。	1年
3	11	夜勤入り明けの関係で、会議出席率が上がらない。また時間が長くなる為、時間外での実施も難しい。	会議出席率を上げる。 出来る限り時間内に実施する。 全職員より意見の言える職場環境にする	全体ミーティングの内容を分けて、業務改善会議・チーフ会と行事検討・内部研修を分けて実施する。	1年
4	10	対面式で意見の言える機会が少なく、面会時等個別的であったり、運営推進会議に限定される。	家族が集まる機会を増やす。	家族会を開催し、家族・入居者が参加する行事を企画する。	1年
5	26	介護計画の説明と同意は出来ているが、本人がより良く暮らすための検討になりえていない。	落ち着いて暮らされて、お変わりがなくても、より良く暮らせる様な検討を行う。	ケアプランの同意の為だけではなく、また形式的なものにならずに、より良く暮らして頂くための検討を行う。	1年
6	36	全職員が一人ひとりの人格を尊重した言葉かけや対応が出来ているとは言えない。	全職員が、一人ひとりの人格を尊重した言葉かけや対応が出来る。	理念勉強会等で人格の尊重や声掛けの有り方等、話し合う機会を設ける。	1年
6	49	その日の希望にそって、戸外に出かけられるような支援になっていない。	出来る限り、本人の希望にそって、外出ができる様に配慮する。	ご家族の協力も頂きながら、気候の良い日は感染症に配慮しながら、その日の職員判断でお散歩や買い物等の外出が出来る様にする。	1年